生活防衛に、県民五万結集

春闘・参院選の勝利を

政府・資本にみなぎる怒り

「県民生活防衛、春闘・参院選勝利、五万人総決起集会」が四月十日、福岡市の東公園で開催された。参加者は労働者ばかりでなく、県下各地からあらゆる民主団体に農民など広い層の人びとがかけつけ、とかくいわれるもりあがらぬ春闘の言葉とはウラハラに、集会は終始緊張、春闘によせる県民の関心の高さを示した。

四月十日福岡市の東公園で、社会党・共産党・福岡県民春闘会議の共催で開かれた「県民生活防衛、春闘・参院選勝利、総決起集会」は、労働者をはじめとする県民各層が広く結集、文字通り春闘・参院選を勝ち抜き、共同行動・統一行動を発展させながら生活防衛に立ち上がることを固く誓った。

すでに自民党政府は、ますます深刻となっていく不況の長期化から、国民生活の上に加わる危機を打開する能力をうしなっている。それどころか、ロッキード疑獄事件や日韓問題の発生は、自民党政治の救いようのない腐敗ぶりを国民の目に焼きつけた。

それでもなおかつ自民党政府は、従来通りの政策から一歩も出ることをせず、すべての犠牲を国民にシワヨセすることによって政治的経済的危機を切りぬけようとしている。

そのことから、いまでは返って県民の自覚が高まり、情勢の転換を求める声が湧き起こっている。そこに開かれた、こんどの五万人集会だった。

三池から百五十人（うち主婦会員三十人）、大牟田地評からほぼ八百人が参加したが、そのなかの一人――堀田・本所指導部長は感想を次のように語っている。

堀田指導部長語る

これまで「もりあがらぬ春闘だ」という観念がこびりついていたのが、五万人集会でいっぺんに吹っ飛んでしまいました。

とにかく集まったのが労働者ばかりでなく、三千人もの農民さえ参加していて、それぞれきりりとハチマキをしめ、とりどりのゼッケンで身を固めた姿がありました。

春闘・参院選ともに、私は改めて勝利を誓ったものです。（上の写真は、集会の模様）

古賀さん当選

三橋町町議選で

このほど行なわれた三橋町（山門郡）の町会議員選挙で、三池労組も推薦した古賀義郎さん（西鉄労組出身）が、見ごと前回落選の雪辱を果たして一位当選を実現。

今後は働く市民の側に立って、明るい民主町政の建設のために奮闘する決意を固めている。心から「おめでとう」とお祝い申し上げ今後のご活躍を期待する。

新日窒の皆さんありがとう

▼こんど寄せられてきました、新日窒労働組合（水俣市栄町一の一。岡本達明委員長）の機関紙〝さいれん〟（三月三十日発行）は、その二面で「教宣部より」として次のようなうったえを掲載しています。

「小城ようかん。三池労組のカンパ物資を取り扱っています。みなさんのご協力をおねがいいたします。来客やお子さまのおやつにもってこいです。

茶煎り・小倉、あずき入りの三種類があります。……」

新日窒労働組合の皆さんありがとうございます。心から感謝すると同時に、命を守る闘いをいっそう力強く進めることをお誓いいたします。

三池労組

退職の人びと

このほど、次のなかまが停年退職のために組織をお離れになりました。心からご健康をお祈りするとともに、いつまでもご活躍のほどを祈ってやみません。ほんとにご苦労さまでした。

四山指導部関係

三浦輝男さん

三浦さん

停年の日　三月二十六日。
お住まい　荒尾市大島六九四、熊社四十三棟。

言葉　「抵抗なくして安全なし。安全なくして労働なし――の合い言葉で、諸先輩が築かれた輝ける伝統を守って、職場・地域の一員として、組合員・主婦会員皆様とともに闘ってきたことが、今日の停年を迎え得たのだと思い、深く感謝しております。

今後はますますきびしい情勢が続くと思いますが、労働者階級の統一と前進のため頑張られんことをお祈り致しまして、永年お世話になったお礼の言葉にかえさせていただきます」

三川指導部関係

木原光安さん

停年の日　二月二十八日。
お住まい　荒尾市下井手助丸。

黒田末雄さん

停年の日　三月十四日。
お住まい　荒尾市本井手字裏頭七二九―二。

野口喜久雄さん

停年の日　三月十九日。
お住まい　大牟田市宮原町二丁目二〇九。

草野留吉さん

草野さん

停年の日　三月二十日。
お住まい　大牟田市野添町一六―五。

言葉　「定年退職に当たり、一言お礼を申し上げます。

復員後再入社し、坑内労働者として三十年間、そして無事今日定年退職できましたこと、ひとえに組合をはじめ、組合員・主婦会員皆様方の暖いご指導とご鞭撻の賜ものと感謝に耐えません。

組合を去るに当たり、いろんなことがいまさらのように思いだされてなりません。今後もきびしい情勢が続くことと思います。お身体を大切に頑張って下さい。私も生命とくらしを守るため頑張りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます」

港務指導部関係

岡本好勝さん

岡本さん

停年の日　三月十九日。
お住まい　大牟田市臼井新町一丁目。

言葉　「三池労組の皆さん、皆さんの暖い同志愛と連帯によって、無事停年を迎えることができました。心からお礼申し上げます。いま組織を去るにあたり、闘いの跡をかえりみて感無量です。分裂攻撃、合理化攻撃と困難な情勢の中で、今日までともに労働者としての正しい道を歩んでこられた誇りをしみじみかみしめています。

情勢はきびしくとも、必ず働く者が主人公となる新しい社会がくることを信じます。

皆さん、今後ますますきびしい合理化攻撃がかけられてくることと思いますが、三池の労働者としての誇りを忘れることなく、くれぐれも健康に留意されまして、執行部を中心に頑張って下さい。私も微力ではございますが、地域で頑張って行く決意です。

皆さんのご健闘を心よりお祈り致します」

岡田委員、石特委で政府追及

真の石炭見直しを

西ドイツの政策に学べ

現国会の三月十四日衆議院で開かれた〝石炭特別委員会〟は、福田自民党政府の、石炭見直しに対する怠慢ぶりを完全にさらけだした。も早や真に時代が求める石炭政策の実現は、保革逆転以外にないことを痛いほど焼きつけた。ここにそのときの審議のなかから、とくに基本的な問題で指摘を行なった岡田利春委員（北海道選出代議士・社会党）と、政府委員（たとえば田中竜夫通産大臣）との質疑応答の部分から抜すいして紹介しよう。春闘の課題とも合わせ、考えてもらいたい。

岡田　総合エネルギー政策　この三月末には新しい方向がきま　据える方向がだされている。わが国のエネルギー政策に対する、対処のタイミングがはずれている。

田中　いまからでも、真剣

岡田　総合エネルギー政策　この三月末には新しい方向がきま　据える方向がだされている。わが

での政府案はきわめて不十分で　る。その中心は、石炭政策の見直　国のエネルギー政策に対する、対

ある。西ドイツではいち早くエネ　しである。百二十億の追加投資の　処のタイミングがはずれている。

ルギー政策の見直しを行なって、　うち、十二億マルクを石炭重点に

田中　石炭が重要なエネルギー政策の見直しを行なって、　うち、十二億マルクを石炭重点に

にとり組む姿勢で、石炭など国産エネルギーの有効利用を図る。同時に準国産の原子力のことも容易ならざる問題で、このとり組みもある。

石油の安定確保にも、努めなければならないし、資源のない日本としては、省エネルギーの問題も重大。

石炭についてはその合理化実施計画など真剣にとり上げ、総合エネルギー政策の基本方向を策定したい。

岡田　政府では石炭を見直すべきだ、石炭火力発電の見直しをすべきだとの積極的意見がある反面、あまり変っていない。ほんとうに石炭政策の見直しが行なわれるのかどうか。

田中　石炭が重要なエネルギー源であることは論をまたず、二千万トンは継続して確保いたさねばならぬ。これはエネルギー対策の中核的な一端である。かように存じている。

岡田　スクラップ・アンド・ビルドの当初の石炭政策でさえ、一時は五千五百万トンまで生産拡大した歴史がある。それが、その後の政策で転換した。が、流れは復活で、これが新政策でなければならないのではないか。

島田　（政府委員）総合エネルギー政策の一環として、貴重な国内資源である石炭をできるだけ有効に活用していこう、ということだ。

岡田　また、国内一般炭と輸入一般炭とを包括的に管理する、一つの機構が必要ではないか。この点どうか。

島田　海外炭開発の場合、輸入量がふえて国内炭が圧迫を受けることのないよう、計画的に進めていきたい。現在の割当制を効果的に運用していくことで対処していきたい。

×

以上に見るように、石炭政策見直しについての政府の態度は、これまでから一歩もです、ただ合理化を強調するほかこれという新しい具体策もないことを改めてさらけだしている。いよいよ、石炭政策は保革逆転にかける以外にないことがハッキリしてきた感が深い。